

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第18期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社あみやき亭
【英訳名】	AMIYAKI TEI CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 啓介
【本店の所在の場所】	愛知県春日井市如意申町五丁目2番地の1
【電話番号】	0568(32)8800
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 千々和 康
【最寄りの連絡場所】	愛知県春日井市如意申町五丁目2番地の1
【電話番号】	0568(32)8800
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 千々和 康
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第2四半期連結 累計期間	第18期 第2四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(百万円)	10,728	11,513	21,660
経常利益(百万円)	671	1,054	1,602
四半期(当期)純利益(百万円)	280	610	710
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	279	609	711
純資産額(百万円)	11,542	12,377	11,871
総資産額(百万円)	14,246	15,231	14,662
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	4,089.76	8,909.43	10,378.06
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	81.0	81.3	81.0
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	145	1,154	1,303
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	837	1,321	1,343
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	104	105	210
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	1,888	2,162	2,435

回次	第17期 第2四半期連結 会計期間	第18期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1,427.33	5,046.48

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関連会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機や長期化する円高などの影響があったものの、東日本大震災の復興需要で景気は緩やかに持ち直しておりますが、電気料金の値上げや消費税増税問題などから依然として先行きに対する不透明感は払拭できない状況となっております。

当業界におきましても、先行き不透明感から消費者の生活防衛意識による節約志向や業界内の競争激化など取巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、経営理念であります「お客様一人一人に喜んでいただく」ことを実現するために、当社の強みである食肉の知識と技術を駆使し、国産牛肉の品質向上を通じてお客様にとって「安心・安全で美味しくて安い」商品の提供を徹底するとともに多能工を推進し店舗力の底上げを行ってまいりました。

店舗数につきましては、あみやき亭2店舗（松阪店、浦和美園店）、美濃路1店舗（春日井篠木店）を新規出店し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は188店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、11,513百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益1,025百万円（前年同期比69.9%増）、経常利益1,054百万円（前年同期比57.1%増）、四半期純利益610百万円（前年同期比117.8%増）と増収増益となりました。

また、株式会社あみやき亭単体の当第2四半期累計期間の業績は、売上高9,794百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益1,022百万円（前年同期比40.5%増）、経常利益1,068百万円（前年同期比38.1%増）、四半期純利益626百万円（前年同期比47.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### < 焼肉事業 >

焼肉事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、2店舗新規出店した結果、120店舗となりました。内訳は、あみやき亭102店舗、かるび家5店舗、スエヒロ館13店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値観・満足感のある商品」の提供に努め、既存店強化に努めてまいりました。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である強みを活かして「チェーン店価格」で和牛中心の商品を提供しております。

以上の結果、焼肉事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,901百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

#### < 焼鳥事業 >

焼鳥事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、1店舗（春日井篠木店）新規出店し、59店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」59店舗であります。

焼鳥事業におきまして、体制面の刷新を行い、サービス業としての基本の徹底を図るなどの内部取組を行い、既存店の立て直しを行っております。

以上の結果、焼鳥事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,091百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

< その他の事業 >

その他の事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、9店舗であります。

内訳は、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する、レストランの「スエヒロ館」6店舗、居酒屋「楽市」3店舗であります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした低価格の「100%国産ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引続き品質の向上に努めてまいりました。

また、居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、520百万円（前年同期比34.3%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して272百万円減少し、2,162百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は、1,154百万円（前年同期は145百万円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,036百万円となったこと等を反映したものであります。

( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は、1,321百万円（前年同期は837百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が274百万円あったこと等を反映したものであります。

( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は、105百万円（前年同期は104百万円の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払額が102百万円あったこと等を反映したものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 設備の状況

提出会社において、本社（愛知県春日井市）におけるフードセンター設備（全社）の新設を決定しております。投資予定額は2億8千万円で、着手年月は平成24年8月、完了年月は平成24年11月下旬を予定しております。

(6) 財政状態の分析

( 資産の部 )

当第2四半期連結会計期間末の資産の内、流動資産は主に、現金及び預金の増加等により7,110百万円となり、前連結会計年度末と比較して、616百万円増加しました。

固定資産は主に、繰延税金資産の増加等により8,120百万円となり、前連結会計年度末と比較して、47百万円減少しました。

以上の結果、資産の部は、15,231百万円となり、前連結会計年度末と比較して、568百万円の増加となりました。

( 負債の部 )

当第2四半期連結会計期間末の負債の内、流動負債は主に、未払法人税等の増加等により2,472百万円となり、前連結会計年度末と比較して、41百万円増加しました。

固定負債は主に、資産除去債務の増加等により、380百万円となり、前連結会計年度末と比較して、20百万円増加しました。

以上の結果、負債の部は、2,853百万円となり、前連結会計年度末と比較して、61百万円の増加となりました。

( 純資産の部 )

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は主に、利益剰余金の増加等により、12,377百万円となり、前連結会計年度末と比較して、506百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、81.3%となり前連結会計年度末と比較して、0.3ポイント増加となりました。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	144,000
計	144,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	68,488	68,488	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	当社は単元株制度は採用していません。
計	68,488	68,488	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	68,488	-	2,473	-	2,426

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%)
チャレンジバイコーポ レーション有限会社	愛知県小牧市桃ヶ丘2丁目10番2号	17,140	25.02
佐藤 啓介	愛知県小牧市	10,900	15.91
日本トラスティ・サー ビス信託銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	6,873	10.03
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	3,634	5.30
米久株式会社	静岡県沼津市岡宮寺林1259番地	2,400	3.50
佐藤 きい	愛知県小牧市	2,050	2.99
日本トラスティ・サー ビス信託銀行株式会社 (信託口9)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	508	0.74
BNYLM-NON TREATY ACCOUNT (常任代理人 株式会社 三菱東京UFJ銀行)	LU VERTIGO BUILDING-POLARIS 2-4 RUE EUGENE RUPPERT L-2453 LUXEMBOURG GRAND DUCHY OF LUXEMBOURG (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	424	0.61
資産管理サービス信託 銀行株式会社 (証券投資信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番12号	415	0.60
野村信託銀行株式会社 (投信口)	東京都千代田区大手町2丁目2-2	401	0.58
計	-	44,745	65.33

(注) 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,873株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,634株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	508株
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	415株
野村信託銀行株式会社(投信口)	401株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式68,488	68,488	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	68,488	-	-
総株主の議決権	-	68,488	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株式 数(株)	他人名義所有株式 数(株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,757	6,459
預け金	177	203
売掛金	2	2
商品及び製品	43	47
原材料及び貯蔵品	224	74
繰延税金資産	94	88
その他	193	234
流動資産合計	6,494	7,110
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,786	4,684
構築物（純額）	393	374
機械及び装置（純額）	203	186
車両運搬具（純額）	3	3
工具、器具及び備品（純額）	187	171
土地	516	516
建設仮勘定	20	90
有形固定資産合計	6,111	6,026
無形固定資産		
ソフトウェア	5	3
その他	47	44
無形固定資産合計	52	48
投資その他の資産		
投資有価証券	10	9
長期貸付金	249	256
繰延税金資産	239	252
差入保証金	1,014	1,021
その他	490	506
投資その他の資産合計	2,004	2,045
固定資産合計	8,168	8,120
資産合計	14,662	15,231

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	859	692
未払金及び未払費用	848	874
未払法人税等	363	466
賞与引当金	103	85
役員賞与引当金	-	10
株主優待引当金	3	8
ポイント引当金	27	26
その他	226	309
流動負債合計	2,431	2,472
固定負債		
負ののれん	0	0
繰延税金負債	25	24
資産除去債務	245	250
その他	89	105
固定負債合計	360	380
負債合計	2,791	2,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	6,972	7,480
株主資本合計	11,873	12,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	2
その他の包括利益累計額合計	2	2
純資産合計	11,871	12,377
負債純資産合計	14,662	15,231

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	10,728	11,513
売上原価	4,124	4,342
売上総利益	6,603	7,170
販売費及び一般管理費	6,000	6,145
営業利益	603	1,025
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	0	0
協賛金収入	46	16
その他	13	4
営業外収益合計	67	29
営業外費用		
その他	0	-
営業外費用合計	0	-
経常利益	671	1,054
特別利益		
受取保険金	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除却損	46	12
投資有価証券評価損	0	-
減損損失	-	6
その他	-	1
特別損失合計	46	19
税金等調整前四半期純利益	625	1,036
法人税、住民税及び事業税	329	434
法人税等調整額	15	8
法人税等合計	345	426
少数株主損益調整前四半期純利益	280	610
四半期純利益	280	610

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	280	610
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	279	609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279	609

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	625	1,036
減価償却費	374	367
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	-
賞与引当金の増減額(は減少)	4	17
役員賞与引当金の増減額(は減少)	10	10
株主優待引当金の増減額(は減少)	3	4
ポイント引当金の増減額(は減少)	13	1
有形固定資産除却損	46	12
受取利息及び受取配当金	7	8
投資有価証券評価損益(は益)	0	-
減損損失	-	6
売上債権の増減額(は増加)	0	0
たな卸資産の増減額(は増加)	12	146
その他の流動資産の増減額(は増加)	9	24
仕入債務の増減額(は減少)	158	167
未払金及び未払費用の増減額(は減少)	68	7
未払消費税等の増減額(は減少)	87	68
その他の流動負債の増減額(は減少)	6	31
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(は減少)	26	28
その他	3	4
小計	682	1,450
利息及び配当金の受取額	4	6
法人税等の支払額	541	302
営業活動によるキャッシュ・フロー	145	1,154
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	3,500	4,500
定期預金の払戻による収入	3,500	3,500
有形固定資産の取得による支出	788	274
有形固定資産の除却による支出	8	-
無形固定資産の取得による支出	6	0
差入保証金の差入による支出	36	8
差入保証金の回収による収入	29	0
貸付けによる支出	8	20
貸付金の回収による収入	0	0
その他	19	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	837	1,321
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	2	2
配当金の支払額	102	102
財務活動によるキャッシュ・フロー	104	105
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	797	272
現金及び現金同等物の期首残高	2,686	2,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,888	2,162

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち、主要な費用及び金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与手当	2,823百万円	2,886百万円
賞与引当金繰入額	75	80
役員賞与引当金繰入額	10	10

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	5,324百万円	6,459百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	3,500	4,500
その他(預け金)	63	203
現金及び現金同等物	1,888	2,162

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月15日 定時株主総会	普通株式	102	1,500	平成23年3月31日	平成23年6月16日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月3日 取締役会	普通株式	102	1,500	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月13日 定時株主総会	普通株式	102	1,500	平成24年3月31日	平成24年6月14日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月1日 取締役会	普通株式	123	1,800	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	焼肉事業	焼鳥事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,275	2,065	10,340	387	10,728
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	8,275	2,065	10,340	387	10,728
セグメント利益又は損失( )	469	160	629	22	607

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、居酒屋事業及びレストラン事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	629
「その他」の区分の利益又は損失( )	22
全社費用(注)	3
四半期連結損益計算書の営業利益	603

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	焼肉事業	焼鳥事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,901	2,091	10,992	520	11,513
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	8,901	2,091	10,992	520	11,513
セグメント利益又は損失（ ）	897	137	1,034	4	1,030

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、居酒屋事業及びレストラン事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,034
「その他」の区分の利益又は損失（ ）	4
全社費用（注）	4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,025

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4,089円76銭	8,909円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	280	610
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	280	610
普通株式の期中平均株式数(千株)	68	68

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

## 中間配当に関する事項

平成24年10月1日開催の取締役会において、当期中間配当につき、次のとおり決議しました。

中間配当による配当金の総額 123百万円

1株当たりの金額 1,800円00銭

支払請求の効力発生日および支払開始日 平成24年12月10日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社あみやき亭  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山田 順 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 楠元 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社あみやき亭の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社あみやき亭及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。